

# 池永レオ遼太郎さん 米山水木さんに聞く

## 「いのちもやして」 のみどころ



池永レオ遼太郎さん



米山水木さん

毎年恒例となった春秋座での鼓童公演が、今年は7月に開催されます。今回は、入団8年目の池永レオ遼太郎さんが演出を、そして池永さんと同期の米山水木さんが初めて大太鼓を披露します。稽古に入る前の4月上旬、お二人に今の想いを伺いました。

―公演タイトルの「いのちもやして」はどういう想いで付けられたのでしょうか。

池永 鼓童結成30周年の時に出版した『いのちもやして、たたけよ。』という本があるのですが、僕はその言葉がすごく好きなんです。今回、その言葉を使って太鼓を打つ感情や葛藤といったものをストリートに表現できたら、僕が作る作品は、僕が演出をする意味、僕がやるからこうなるというものにしたいたいと思っています。それによって見えていない世界が見えてきたり、世界が広がったり。舞台は触れられないものですが、直接触れられるような臨場感のある変化を起こしたいいつも思っています。

―米山さんから見て池永さんの演出の魅力はどこにありますか。

米山 同期というのがありますが、遼太郎が作る曲や世界観は入り込みやすいですね。「鼓童から飛び抜けてやろうぜ」「変えてやる!」という揺るがないものをすごく感じます。私は昔からのイメージの鼓童のスタイルが大好きで入ったのですが、彼はそれを再生、再

創造することに着目して作品や曲を作っていく。そういうところは素敵だなと思います。私が好きな昔からの鼓童も守りつつ、今の私たちの鼓童を作る。そういうサイクルが続くといいなと。それが歴史となっていく。

―今回は米山さんが初めて「大太鼓」という演目を担うそうですね。

池永 はい。それを軸に作ろうと最初に決めました。

―米山さんを選んだ理由は何だったのでしょうか？

池永 それは、彼女ならいけるでしょう!って。僕が演出するからには、いろんなものを伝えたいと話しましたが、大太鼓は女性にハードルが高そうなイメージがあったとしても、水木なら大丈夫というか、お客さんも観たいのではないかなと思って。単純に「男性に負けない!」という感じでやるのも違うと思うので、水木としての大太鼓の世界観が作れるといいなと思っています。

―米山さんにとって「大太鼓」と対峙する時の印象はどのようなものでしょうか？

米山 鼓童には、禪(ふんどし)姿になって大太鼓を屋台の上で叩き、そこから飛び降りて「屋台囃子」という曲を叩くというスタイルがあるんです。私はそれを初めて観た小学生の時、最初はすごく驚きました。見ているうちに、一音一音、命をかけて打っているのが伝わってきました。また、屋台の上で大太鼓を叩くという

は、その人の人生が丸裸になりますし、目の前にある大きな太鼓と自分との対峙するように感じています。ですから遼太郎から「鼓童のイメージは関係なく、水木の好きなようにやってみて」と言われても、ファン時代に観ていたものや、鼓童に入って舞台袖から観た先輩の姿を考えて、自分でいいのかなと不安になることもあるのですが、最終的には覚悟を決めて臨みたいと思っています。

―春秋座公演にお越しになるお客様にメッセージをお願いします。

池永 「いのちもやして」は新作ですが、今までの鼓童の舞台から乖離したのではなく、素直に一步前進、進化した作品にできたらと思っています。ご覧になって「明日、頑張ろう」「米山さんが大太鼓を打っているから私も何かチャレンジしよう」と思えたりこの生きづらいつ世の中が生きやすくなれるような、灯のようなものになればいいなと思っています。

米山 私なりの太鼓で勇気や元気をお客様に伝えたいと思っています。不安や緊張もしていますが、お客さんの前で演奏することを想像するとワクワクする部分もあります。ぜひ多くのお客さんに観に来ていただけたらと思います。

ロングバージョンは  
劇場HPへ



鼓童「いのちもやして」出演メンバーに聞く “幸せを感じる瞬間は？”

東京都町田市出身

中込健太

地方でおいしい居酒屋を見つけたとき！

福島県いわき市出身

小松崎正吾

自然の中で風や景色や季節の香りを感じて踊ったりしている時、自分の境が無くなる気持ち良さがあって、生きてる幸せを感じます。

香川県三豊市出身

住吉佑太

週末、子どもたちが寝たあとに奥さんとポテチを食べながら、缶ビールを飲む時間

千葉県八千代市出身

三浦康暉

休みの日、夕方頃からゆっくりと料理を作り、味見をしながらお酒を嗜んでいる時が最高に幸せです。

東京都大田区出身

米山水木

家族という時です。一緒にいて、心がホッコリします！！

熊本県菊池市出身

前田順康

鼓童でクリエイションをしているとき



神奈川県大和市出身

三枝晴太

「晴太、音大きすぎるからもう少し楽に打っていいよ！」と言われた時！（笑）綺麗で良い音を大迫力でお届けするのがモットーです。

鹿児島県枕崎市出身

平田裕貴

公演のいちばん最後、緞帳が降りきる直前、お辞儀をしているとき。拍手の響きを浴びて「生きていてよかった」とさえ感じます。

福岡県糟屋郡出身

定成啓

朝、すんなり起きた時の、ちよっとした時間

埼玉県鶴ヶ島市出身

新山萌

外が晴れていて、心に余裕がある時

神奈川県横浜市出身

廣寄一馬

休日にブーツにクリームを塗り、ブラッシングして光沢が出てきた時が幸せです！

岩手県奥州市出身

小川蓮菜

動物を見ている時です！目が合った時のチョコンとした顔が愛おしいからです！特に、ハムスターとバグとコーギーが好きです



演出 アメリカ・ミシガン州出身  
池永レオ遼太郎

全てを楽しめる心持ちでいる時



鼓童「いのちもやして」

7月15日(土)、16日(日) 両日共に13時開演



今作は「いのちもやして」舞台表現をする若者たちのひたむきな姿が、人の心を打ち抜く作品です。佐渡という離島に根ざした若者たちに内在するエネルギーが、観る者の明日への活力を醸成します。演出は鼓童メンバーの中でもマルチな活躍を見せる池永レオ遼太郎。「人々の生きる力を鼓舞する」舞台を目指し、佐渡から世界へ音を届けます。鼓童として太鼓芸能の伝統やスタイルは大切にしながらも、若手世代が躍動して新たなアプローチを目指したスペシャルな音楽を、京都・春秋座でぜひ生で体感してください！

公演の詳細はこちら

